

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	吉田山の里山を再生する会
活動タイトル	放置された里山を修復し、四季折々人々が集い楽しめる里山に再生する活動
活動地域	京都市左京区 吉田山



4月23日 遊歩道の見通し改善

【活動の目的・目標】

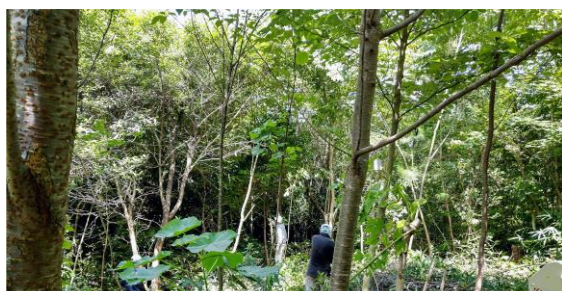
間伐、剪定、除草をする事により、里山の修復と、植樹木の育成を図り、また山道・遊歩道の見通し改善し、四季折々楽しめる里山に近づける。



5月21日 遊歩道脇の除草

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

チェーンソーや刈払機を使用するにあたり、安全な作業を徹底するように、講習を始めた。この夏の炎天下の作業日には、こまめな休憩を徹底し、参加者の出席チェックに加え、終了時チェックを加えた。



7月16日 間伐地(点前)と未着手地(奥側)

【活動の内容・成果】

開催回数：定例作業日5回

参加人数：定例作業日122名 随時作業127名

達成率：目標設定せず。

上期の定例作業日では、間伐・剪定、除草、チップ化处理、京都市動物園へ剪定枝の搬出が主な作業。

緑地公園遊歩道脇の繁茂した中・低木の伐採・剪定を進め、開放感のある遊歩道に復元出来た。

以前植樹した桜やモミジの成長を妨げる雑木を伐採・剪定し、紅葉や来年の桜花が良く見えるように景観を改善した。

随時作業では、ミツバツツジの育成、植樹木周辺の剪定、階段の補修などを行った。

【団体概要】

2008年7月設立

2009年3月第1回植樹会開催

2011年2月第2回植樹会以降毎年早春に開催

2017年第8回より自家育成の桜苗などを植樹
(毎回10本植樹)

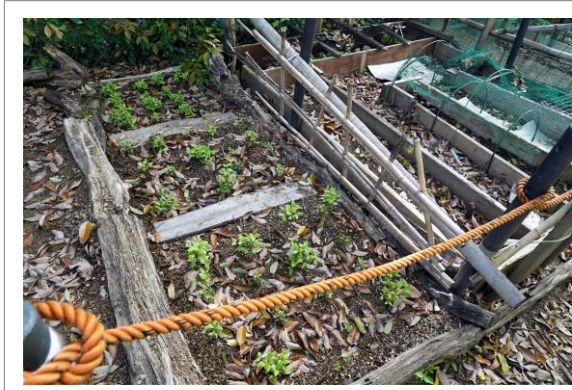
2018年1月より毎月1回定例作業日を設定

現在会員登録約70名

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



4月13日撮影 ミツバツツジ実生苗養成状況
定例作業日以外の随時作業の1つ。
吉田山に唯一1本あるミツバツツジより採取した種を昨年播種、今年育苗箱より苗場に移植して活着した様子。右上の方も昨年移植したエリア。まだ育苗箱に育っている苗があるので、後期左側に苗床を拡張予定



4月23日 毎回定例作業日に京都市動物園に軽トラック1杯の剪定枝を届けています。
写真は荷下ろしを終えた所。
この日はアラカシ、トウネズミモチ、サクラ、アカメガシワを届け、樹種毎に所定の場所に荷下ろししています。



4月23日 定例作業日の様子。
参加者状況・作業予定により、伐採・剪定担当、チップパー担当、枝葉をチップパーまで運ぶ担当、除草担当と分けます。この写真には、チップパー担当と運ぶ担当が写っています。



7月16日 定例作業日に出た新しいチップの上に、動物園から頂いたゾウ糞堆肥を積んだ様子。吉田山から動物園に搬出した剪定枝を、形を変えて環流さす試み。